

2013 年 8 月号

(年4回発行)

717 会報 大阪

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

News Report

OMSA

▼ TABLE OF CONTENTS ▼

- ◆ 一般社団法人設立社員総会
第1回 通常総会 開催..... 2
- ◆ 平成 25 年度 事業計画指針..... 3
- ◆ 平成 25 年度 事業計画..... 5
- ◆ 平成 25 年度 年間行事予定表..... 7
- ◆ 平成 25 年度 収支予算書..... 8
- ◆ 平成 25・26 年度事業運営委員会組織.....10
- ◆ 委員会活動報告.....11
- ◆ 技術セミナー案内 (金属プレス・金型編)12
- ◆ 中小企業安全サポート事業 (無償)14

一般社団法人 大阪金属プレス工業会

<http://www.omsa.or.jp/>

一般社団法人 設立社員総会 第1回 通常総会

本会の第1回通常総会（設立社員総会）が、去る7月23日（火）午後16時から、天王寺区のたかつガーデンで開催された。

出席状況はかきのとおり。

社員総数 83名

出席社員 61名（内委任状出席31名）

出席理事 17名

出席監事 2名

以上の通り、総社員の過半数以上の出席があったので、定款の定めにより本総会は適法に成立したことを事務局が報告し、開会する旨を宣し議事に入った



始めに夏山代表理事から、この度の、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」の施行に伴い、7月22日に大阪府知事の認可を受け、7月中に設立登記を完了すべく作業中であります。その意味合いからも、本日の設立総会の議事内容及び議事録が重要になってくると述べ、それまでの経緯説明があった。

先ず、司会者から、定款の定めにより、夏山代表理事を議長に選任。議長は議事録署名人に、朝田武志氏（朝田金属工業㈱）、河合邦晃氏（第一大陽工業㈱）の両氏を指名し、議事に入った。

議事内容は次のとおり。

【第1号議案】平成24年度事業報告及び収支決算報告に関する件

- ・本議案は、先に開催の臨時総会において承認されている特例民法法人としての社団法人大阪金属プレス工業会の最終決算であることが説明された。
- ・引き続き濱田恵監事より、事業報告書ならびに各会計の収支決算書、貸借対照表及び財産目録等各事項について、正確かつ適正であったとの会計監査報告がされた。

以上をもって第1号議案の承認を求めたところ、満場異議無く承認された。

【第2号議案】平成25年度事業計画及び収支予算に関する件

- ・本議案についても臨時総会において承認されていることの説明が事務局よりあり、本日は要約の説明にとどめることとした。

ここにおいて、議長は議場にその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

【第3号議案】平成25年・26年度役員選任に関する件

- ・本議案についても臨時総会において承認されていることの説明が事務局よりあり、本日は役員

の追認にとどめることとした。
又、議長から平成24年5月21日開催の第36回通常総会において一般社団法人への移行に伴う定款の変更も承認されており、本日付で追認されることを動議した。

以上

第4. 平成25年度 事業計画指針

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

平成25年度における事業計画(案)の策定にあたっては、12月の公益法人法の改正をひかえ、7月には一般社団法人への移行認可及び設立登記を完了し、新たなスタートになります。

工業会事業につきましては、従前どおり会員企業の経営基盤強化を目的とした、産・官・学・連携事業、国の中小企業サポーターリング支援事業を活用した技術開発の推進、インターネットを利用したWebラーニング(Web学習システム)による人材育成などを主眼に、各事業運営委員会をフルに機能させ着実に事業を推進していくことで、魅力ある工業会に変身し、組織の拡充と活性化を進めてまいります。

各事業運営委員会の活動指針は次のとおり。

1 総務委員会

- (1) 理事会、正副会長・委員長会議を通じて、工業会の運営基盤の強化をはかる。
- (2) 事業運営委員会組織を再編し、理事主導で活動推進をはかる。
- (3) 平成28年の創立40周年記念事業に向けて、300万円を積み立てる。
- (4) 青年部会の組織の拡大及び活動を支援する。
- (5) 総会・新年賀詞交歓会時に親睦会を開催し、関係官庁・諸団体と会員相互の交流を深める。
- (6) 経営者懇話会を開催し、経営上の諸問題についての情報交換・相互援助の場を提供する。
- (7) 機関紙「プレス会報・大阪」を年4回発行し、話題性のある記事や特集記事等を掲載して、誌面の充実をはかる。また、ホームページ上で様々な最新情報を提供していく。
- (8) 一般社団法人への移行にともない、「入会のしおり」を刷新し、会員の増強をはかる。

2 経営委員会

- (1) 新年賀詞交歓会時に特別講演会を開催する。
また、タイムリーな話題があれば随時経営者セミナーを開催する。
- (2) 一般社団法人への移行にともない、ホームページをリニューアルする。また、公益性を遵守するため、見学会・セミナー・研究会、技術研修会等の事業を一般に公開する。
- (3) 経営・労務研究会をタイムリーに開催し、労使関係のトラブル防止及び労務改善をはかる。
- (4) 好評のレクレーション事業を本年も継続実施し、会員相互の親睦・福利厚生活動に寄与する。

3 安全・技術委員会

- (1) 安全教育を通じて安全意識の高揚をはかり、災害防止対策及び労災収支の改善はもとより、更なる労働保険率の軽減をはかる。
- (2) 日金協が主催する、プレス安全・環境シンポジウムに積極的に参加する。
- (3) 第72回 全国産業安全衛生大会（10/30～11/1・大阪城ホール）に積極参加を啓蒙する。
- (4) 技能検定「金属プレス加工」・「プレス金型製作」の実技試験を府より委嘱をうけて、公正かつ円滑に実施する。
- (5) 上記の準備講習会（学科・実技）を開催し、受検者の合格率向上をはかる。
- (6) Web ラーニングのコンテンツの充実をはかり、更なる技術・技能のスキルアップをはかる。
- (7) 先端・モデル企業等を見学し、自社の生産性向上や工程設計に役立てる。
- (8) 教材用 VTR・DVD を一般にも貸出しを開始する。（有料、会員は無料）

4 青年部会

- (1) 組織の拡大及び活性化のため、会員の増強をはかる。（現在：15名）
- (2) 新会長のもと、活発な活動展開をはかり、次代を担う後継者の育成に努める。
- (3) 3地区（愛知・京都・大阪）合同交流会に参画して、自己啓発及び情報交換の場とする。（本年は、大阪が幹事）

【年間行事予定表別紙掲載】

1.平成25年度 事業計画(案)

1 第1期 事業計画 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1. 会 議

会 議 名	開催日	内 容
第1回通常総会	7月23日	第1号議案 平成24年度 事業報告及び収支決算報告に関する件 第2号議案 平成25年度 事業計画(案) 報告及び収支予算(案)に関する件 第3号議案 平成25・26年度 役員選任に関する件
理 事 会	8月上旬	第1回 一般社団法人移行後の初回理事会 (新役員懇親会)
	10月中旬	第2回 平成25年度上期事業報告及び収支決算報告
正副会長・委員長 会 議	4月中旬	第1回 ①平成25年度事業計画(案)の策定 ②平成25・26年度事業運営組織の編成
	10月上旬	第2回 平成25年度上期活動報告及び下期活動方針
総 務 委 員 会	8月中旬	第1回 平成25年度活動計画の実行推進
	2月下旬	第2回 平成26年度活動計画(案)の策定
経 営 委 員 会	8月中旬	第1回 平成25年度活動計画のの実行推進
	3月上旬	第2回 平成26年度活動計画(案)の策定
安全・技術委員会	8月中旬	第1回 平成25年度活動計画のの実行推進
	3月上旬	第2回 平成26年度活動計画(案)の策定
経 営 者 懇 話 会	8月下旬	経営者 情報交換会
青 年 部 会	毎月1回	自主運営

2. 事業

区 分		事業名	内 容
継 続 事 業	(継1) 技能検定事業	技能検定検定委員会議	前・後期 (2日)
		前期実技試験	9月 (5日間) 金属プレス加工
		後期実技試験	1月 (2日間) 金型製作
		採点会議	前・後期 (2日)
	(継2) 教育訓練研修事業	前期技能検定準備事業	8月 (2日間) 「金属プレス加工」学科講習会 9月 (3日間) 「金属プレス加工」実技講習会
		後期技能検定準備事業	1月 (2日間) 「金型製作」実技講習会
		指導員会議	前・後期 (2日)
		Web学習支援事業	OMSA・Webラーニング
	(継3) HP等情報提供事業	教材用VTR・DVD貸出事業	各240巻整備 (会員無料・一般有料)
		機関誌の掲載	「プレス会報」年4回発行 (150部)
		工業会新着情報・広報	◇行事予定
		各種情報提供	◇行政ニュース ◇能力開発 ◇プレス安全対策 ◇中小企業施策 ◇部外セミナー・研究会
		情報公開	◇定款 ◇事業報告 ◇財務諸表 ◇会員名簿 ◇役員名簿
そ の 他 事 業	(他1) 経営・労務関連事業	経営・労務管理完全事業	年2回 経営・労務研究会
		経営者セミナー	年2回 (9月・1月)
	(他2) 技術向上関連事業	プレス・金型技術セミナー	1日コース (2回) 9月・3月 2日コース (1回) 11月
		金属プレス加工技術研究会	年3回 (一社) 日本金属プレス工業協会 主催
		見学会	独自事業：モデル企業見学会 (1回)
			協賛事業：異業種見学会 (2回)
	(他3) プレス安全関連事業	安全意識高揚事業	11月 プレス安全・環境 シンポジウム (協賛事業)
		プレス機械作業主任者講習会	3月 (支援事業)
		災害防止対策事業	◇ポスター・リーフレット配布
	会員事業	会員交流会	7月 懇親情報交換会 12月 忘年会 1月 新年賀詞交歓会

3. 監査

区 分	回数	内 容
内 部 監 査	2	監事による、事業・会計 及び 公益目的実施計画等に関する監査

平成25年度 行事予定表

	総務委員会		経営委員会		安全・技術委員会		青年部会
	総務関係	交流関係	経営関係	経営関係	安全関係	技術関係	
4月						17日～20日 金属プレス加工技術展2013 (東京ビッグサイト・4社出展)	24日 例会 (総会)
5月							23日 例会
6月	6/E 一般社団法人移行認可 7/上 解散及び 設立登記					4日 第1回検定委員連絡会議	下旬 例会
7月	23日 一般社団法人設立総会 第1回 通常総会・理事会	23日 総会 懇親会 (会員のみのみ)					下旬 OB・現役合同懇親会
8月	中旬 第1回 総務委員会 下旬 経営者懇話会	中旬 プレスカ会報発行	中旬 第1回経営委員会	中旬 第1回安全・技術委員会	【前期技能検定・プレス加工】 3・4日 学科講習会		下旬 例会
9月			中旬 経営者セミナー			【前期技能検定・プレス加工】 3～5日 実技講習会 6～10日 実技試験 6日 技術セミナー(協賛事業)	中旬 家族会
10月	中旬 第1回 正副会長・委員長会議 下旬 第2回 理事会	下旬 プレスカ会報発行			中旬 工場見学会	中旬 第2回検定委員連絡会議	中旬 3地区合同交流会
11月				中旬 経営・労務研究会	下旬 プレス安全・環境 シンポジウム		中旬 例会
12月		上旬 忘年会					中旬 OB・現役合同忘年会
1月		上旬 プレスカ会報 新年号発行 下旬 新年賀詞交歓会	下旬 新春特別講演会			【後期技能検定・金型製作】 上旬 実技講習会 中旬 実技試験	下旬 親会新年賀詞交歓会
2月	下旬 第2回総務委員会			中旬 経営・労務研究会	下旬 第2回安全・技術委員会		中旬 例会
3月	中旬 第2回 正副会長・委員長会議		上旬 第2回経営委員会		中旬 プレス安全教育支援事業 プレス機械作業主任者講習		下旬 例会 (卒業式)
備考							会長：中辻将喜 副会長：金沢製作所 副会長：佐々木徹也 佐々木工業㈱ 総務幹事：新垣厚 コーシン金沢工業所 会員数：15名

第5. 平成25年度 収支予算(案)

1. 平成25年度 正味財産増減計算書(予算書)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	10,686,000		
正会員受取会費	8,430,000		
特別会員受取会費	156,000		
賛助会員受取会費	2,100,000		
事業収益	3,859,000		
懇親会収益	800,000		
競技会収益	90,000		
研修会収益	60,000		
講習会収益	830,000		
技能検定収益	1,105,000		
技能検定機器貸与収益	884,000		
見学会収益	60,000		
教材貸出収益	30,000		
雑収益	180,000		
受取利息	3,000		
受取手数料	177,000		
雑収益	0		
経常収益計	14,725,000		
(2) 経常費用			
事業費	12,835,700		
技能検定経費	1,377,000		
教育訓練研修経費	507,100		
HP等情報提供経費	360,000		
経営・労務関連経費	180,000		
安全関連経費	110,000		
技術関連経費	450,000		
諸会費	1,911,000		
会議費	300,000		
青年部育成金	120,000		
報奨費	0		
懇親会経費	1,200,000		
交流懇話会経費	40,000		
競技会経費	100,000		
(事)給与手当	774,000		
(事)顧問料	3,168,000		
(事)旅費交通費	300,000		

科 目		前 年 度	増 減
(事)通信運搬費	213,600		
(事)消耗什器備品費	45,000		
(事)消耗品費	90,000		
(事)リース料	270,000		
(事)保守料	60,000		
(事)光熱水料費	180,000		
(事)賃借料	1,080,000		
管理費	3,099,400		
給与手当	816,000		
顧問料	892,000		
福利厚生費	100,000		
旅費交通費	200,000		
通信運搬費	86,400		
消耗什器備品費	15,000		
消耗品費	30,000		
新聞図書費	30,000		
印刷製本費	150,000		
リース料	90,000		
保守料	20,000		
光熱水料費	60,000		
賃借料	360,000		
慶弔費	100,000		
交際費	100,000		
租税公課	10,000		
雑費	40,000		
経常費用計	15,935,100		
当期経常増減額	-1,210,100		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
周年事業引当金支出			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
法人税・住民税・事業税			
当期一般正味財産増減額	-1,210,100		
一般正味財産期首残高	17,164,415		
一般正味財産期末残高	15,954,315		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	15,954,315		

平成25・26年度 事業運営委員会組織表

委 員 会		業 務 内 容	担当副会長	委 員 (◎委員長 ○副委員長)			
総務委員会							
総務関係		☐ 総会、理事会の運営 ☐ 財務管理 ☐ 組織及び規定 ☐ 会員表彰 ☐ 事務局の運営 ☐ 青年部の育成	中 辻 康 (㈱大喜金属製作所) 佐 藤 進 (シンコーエステック㈱)	多 田 修 (プレテック㈱)			
		西 村 哲 也 (㈱ニシムラ)					
交流関係		☐ 部内外に対する広報 ☐ 業界関連刊行物の購入・頒布 ☐ 機関誌の発刊 ☐ 会員名簿の作成 ☐ 「入会のしおり」作成 ☐ 会員相互の親睦・交流 ☐ 異業種交流 ☐ 国際交流 ☐ 経営者懇話会		◎ 島 田 真 輔 (カネエム工業㈱)			
				萩 原 圭 祐 (萩原鋼業㈱)			
				中 村 雄 輝 (大東プレス工業㈱)			
				○ 林 秀 昭 (㈱ハヤシ)			
				横 幕 武 夫 (伊吹産業㈱)			
経営委員会							
経営関係		☐ 経営情報の提供 ☐ 講演会の開催 ☐ 行政施策活用推進 ☐ 見学研修会 ☐ 情報化の推進	東 潤一郎 (弘和工業㈱)	濱 田 恵 (濱田プレス工芸㈱)	歌 島 道 利 (㈱エスケイケイ)		
		○ 佐々木 徹 也 (佐々木工業㈱)		藤 田 格 平 (藤田金属㈱)			
労務関係		☐ 人事・労政 ☐ 雇用対策 ☐ 福利厚生 ☐ 研修会・研究会		関 健 一 (飯田金属工業㈱)	宮 本 保 (㈱宮本製作所)		
				◎ 橋 本 達 也 (㈱関西プレック)	片 山 欣 弥 (三谷金属㈱)		
				新 川 弘 二 (㈱トーキンシステム)			
安全・技術委員会							
安全関係		☐ 安全衛生 ☐ 環境管理 ☐ 見学研修会 ☐ プレス災害防止対策	宮 永 憲 一 (大阪美錠工業㈱)	◎ 河 合 邦 晃 (第一大陽工業㈱)			
		技術関係			田 淵 善 隆 (㈱田淵製作所)		
山口 登志夫 (山口鉄工㈱)							
○ 朝 田 武 志 (朝田金属工業㈱)							
ISO関係		☐ 技術情報の提供 ☐ 教育訓練 ☐ 品質・規格 ☐ 技能検定 ☐ 展示会 ☐ 新規取得会員への助言 ☐ ISO旬報の作成 ☐ サーベランス対策 ☐ 関係法令の整備 ☐ 内部監査員の養成			川 口 克 司 (㈱エスケイケイ)		
					鈴 木 猛 (㈱アマダ)		
(一社) 日本金属プレス工業協会							
理 事		夏 山 享 啓 (副会長) 宮 永 憲 一 佐 藤 進 中 辻 康	運営委員会	宮 永 憲 一	(大阪美錠工業㈱)		
			安全・環境委員会	河 合 邦 晃	(第一大陽工業㈱)		
			展示会推進委員会	木 林 哲 正	(㈱エスケイケイ)		
				渡 辺 陽 一	(㈱ゼロム)		
			産業ビジョン委員会	河 合 邦 晃			
			事務局長会議	安 井 賢 治			

委員会活動報告

委員会名	開催日時 場 所	出席者(敬称略)	議事要旨
第1回 技能検定委員会議	6月5日(水) 16:00 工業会事務所	河合邦晃(第一太陽工業㈱) 山口登志夫(山口鉄工㈱) 川口克司(㈱エスケイケイ) 高垣能太郎(㈱津村製作所) 朝田旭(朝田金属工業㈱) 板井章人(パナソニック㈱) 鈴木猛(㈱アマダ)	(1) 技能検定「金属プレス加工」スケジュールの確認 (1) 検定委員・補佐員の日程調整 (2) 金型部品の点検・補充について (3) 作業手順書の頒布に突いて
第1回 総務委員会	7月30日(火) 17:30 工業会事務所	佐藤 進担当副会長 中辻 康担当副会長 島田真輔 林秀昭 横幕武夫 中村雄輝 安井賢治(事務局)	(1) 平成25・26年度正副委員長の選任 委員長:島田真輔 副委員長:林秀昭 (2) 平成25年度年間活動計画について (3) 経営者懇話会(9/4)テーマ 一わが社の海外事業展開について
第1回 安全・技術委員会	8月5日(月) 17:30 工業会事務所	河合邦晃 山口登志夫 川口克司 朝田武志 鈴木猛 安井賢治(事務局)	(1) 平成25・26年度正副委員長に選任 委員長:河合邦晃 副委員長:朝田武志 (2) 平成25年度年間活動計画について (3) 技能検定「金属プレス加工」準備講習会及び実技試験の進捗について (4) 見学会開催時期・候補先について 10月中旬で候補先を選定する (5) 後期技能検定「プレス金型製作」の受検意向調査中
第1回 経営委員会	8月7日(水) 17:30 工業会事務所	東 潤一郎担当副会長 藤田格平 橋本達也 佐々木徹也 新川弘二 片山欣弥 歌島道利 安井賢治(事務局)	(1) 平成25・26年度正副委員長に選任 委員長:橋本達也 副委員長:佐々木徹也 (2) 平成25年度年間活動計画について (3) 経営者セミナーの開催について 正副委員長で時期・テーマを企画し講師の選定に入る。他の委員会との共催も検討 (4) ホームページのリニューアル(8月中旬) 費用を軽減を検討する ① 補助金・助成金の活用 ② 協賛企業の募集(広告リンク)

平成25年度前期 技術セミナーのご案内

プレス作業これが出来たら一人前 シリーズ

(金属プレス・金型編)

－「日頃の作業から付加価値を生み出すために」－

従来のクランクプレス機械での加工では、金型取付け、下死点調整し、決められたストローク数で加工を開始するならば、プレスオペレータが関与することは、抜き取り検査等の結果の管理等である。しかし、サーボプレスの登場でプレスオペレータは、加工が行われているプレス加工プロセス全体が制御可能になる。このことは、成形を分析する能力が必要され材料特性等を考慮して成形プログラムを作ることが重要な仕事となる。プレス加工全体を把握し、その結果をプレス加工プログラムに反映させることが必要となり、付加価値の源となる。そのための知識を俯瞰して、情報発信できるプレスオペレータの方向性を確認する。

主な内容	I プレス作業 II 金型の構造 III 金型加工 IV プレス作業に必要な図面の見方 V 金型組立 VI プレス作業に必要な測定の仕方	VII 金型の取付け VIII プレス機械と周辺機器 IX 成形材料 X プレス加工のトラブル XI プレス作業の安全
日 時	平成25年 9月6日 (金) 9:20~16:20(会場受付:9時10分~)	
対 象 者	現場リーダー及び現場従事者	
参 加 費	一般 8,000円、主催・共催団体会員4,000円	定 員 40名(先着順)
講 師	小渡 邦昭 (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度職業能力開発促進センター	
会 場	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 大阪高齢・障害者雇用支援センター大阪センター 〒541-0056 大阪府中央区久太郎町2-4-11 クラボウアネックスビル3階	
主 催	社団法人大阪金属プレス工業会	
共 催	一般社団法人日本金属プレス工業協会 一般社団法人東京都金属プレス工業会 一般社団法人愛知県金属プレス工業会 一般社団法人日本金型工業会	
お申込み先 お問い合わせ先	裏面の参加申込書にてFAXで お申し込み下さい。 FAX (043-296-2585)	



参加申込書（兼受講票）

平成25年 8 月 日

セミナーについて、次のとおり申し込みます。

セミナー名	プレス作業これが出来たら一人前(金属プレス・金型編)
-------	----------------------------

企業名		団体名	一般社団法人大阪金属プレス工業会
所在地	〒		
連絡先	TEL :	FAX :	
	E-mail :		
フリガナ	部署名		
申込者氏名			

参加者氏名	部署名	役職名

申込方法：FAX（043-296-2585）にてお申し込み下さい。

※注1 受付は先着順とし、定員になりしだい、締切とさせていただきます。

※注2 雇用調整助成金において、本セミナーのカリキュラムが必要な場合は
<http://www.apc.ehdo.go.jp/1.pdf> をご覧下さい。

※注2 受講料のお振込み先（兼受講票）は、受付完了後、送付いたします。

※注3 1コースあたり6名様以上のお申込みをされる際は、申込書をコピーしてご利用ください。

※注4 参加費は1コース1名につき一般8,000円、主催・共催団体会員4,000円、となっております。

お問い合わせ先： 高度ポリテクセンター 事業課

TEL：043-296-2582

社団法人 大阪金属プレス工業会

TEL：06-6762-8629

中小企業支援

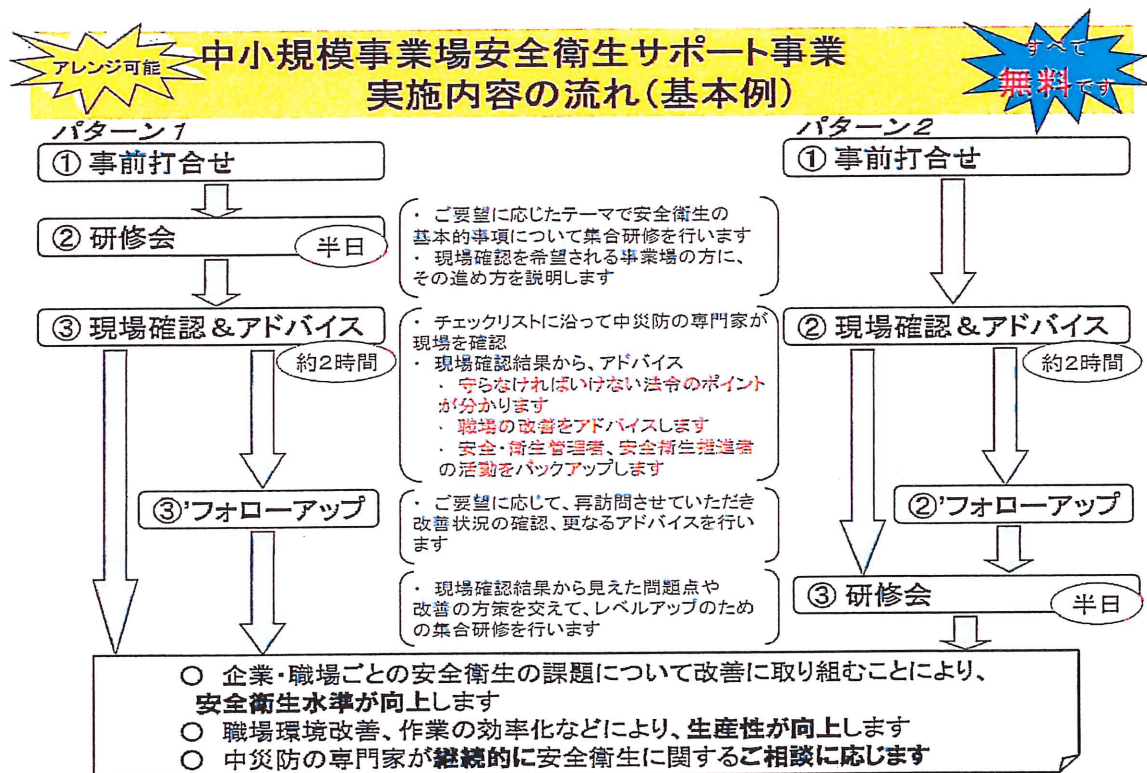
「中小規模事業場安全衛生サポート事業(無償)」 集団支援と個別支援で安全衛生水準の向上を図る。

中央労働災害防止協会(中災防)では、工業団地や業種別工業組合、企業系列の下請協力会などの事業場集団を捉え、労働者数が概ね 100 人未満の製造業等の事業場を対象に、安全衛生の専門家による集団支援(集合研修)及び個別支援(現場確認とアドバイス)を実施する「中小規模事業場安全衛生サポート事業」を開始しました。

昭和 47 年の労働安全衛生法の制定以降、製造業の労働災害は減少してきましたが、中小規模事業場の災害発生率は依然高く、平成 22 年度の死傷者の年千人率は、規模 300 人以上で 0.88 に対し、50～99 人で 3.25、30～49 人では、4.26 と跳ね上がります。

こうしたことを背景に平成 25 年 2 月に国が策定した第 12 次労働災害防止計画では、国と中災防の連携した取り組みとして、中災防により製造業の中小規模事業場の安全衛生活動の底上げを図る支援をすることとしています。

本事業はこの計画の趣旨に添った取り組みであり、安全衛生水準の向上に意欲があり、そのための支援を求めている中小規模事業場に対し、中災防の経験、人材、ノウハウをフルに活用し、サポートしていくものです。



中小規模事業場安全衛生サポート事業のポイント

- 対象事業場は、労働者数が概ね 100 人未満の製造業等の業種で、労災保険適用の事業場です。「製造業等の業種」の事業場とは、日本標準産業分類でいう「製造業」に分類されない業種であっても、製造業の主要な作業である、物の加工・組立、修理、設備保全を主要業務とする事業場を対象として差し支えありません。

- 集団支援の内容は、工業団地等の事業場集団の事務局等とご相談の上、安全衛生全般から機械設備の安全対策、ヒューマンエラー防止、危険予知活動、作業環境改善、腰痛予防、有機溶剤中毒防止など特定のテーマまで集団事務局のご要望に応えた研修を実施します。
- 最初の集合支援で一般的な内容の研修を実施し、その後集団所属事業場の個別支援を実施した後、その結果を参考とした共通する特定テーマについて、2回目の研修を実施することも可能です。
- 個別支援の内容は、作業現場を拝見させていただいたうえで、その結果に基づく安全衛生水準向上に向けたアドバイスを実施します。現場確認とアドバイスは、安全衛生全般的な視点からだけでなく、機械設備のリスクへの対応や、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)についての現場確認など、事業場の要望によりアレンジ可能です。
- 1回目の個別支援に引き続き、さらなる向上に向けた2回目支援(フォローアップ支援)も実施いたします。
- ただし、特別教育などの法定教育の実施や、動力プレスの特定自主検査の実施などの法定事項の実施は適用できません。
- 集団支援と個別支援は組み合わせて実施するのが基本パターンですが、集団支援のみ実施又は個別支援のみ実施も可能です。
- 実施に当たっての経費の負担はありません。

お問い合わせ先

中央労働災害防止協会技術支援部技術指導課

TEL03-3452-6375 Fax03-5445-1774

E-mail: sidouka@jisha.or.jp

又は、各地区安全衛生サービスセンターへ

中央労働災害防止協会

〒108-0014 東京都港区芝 5-35-1 産業安全会館

Copyright © 2013 JISHA. All Rights Reserved.



一般社団法人大阪金属プレス工業会

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-5-15

TEL (06)6762-8629 FAX (06)6762-7633

<http://www.omsa.or.jp/>

[mail:omsa1@omsa.or.jp](mailto:omsa1@omsa.or.jp)